



■□グループ討議 19:00～20:10 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

- 各グループに分かれて討議を進行しました。まず自己紹介をした後、資料の「基本構想骨子」をあらためてよく読んだ上で、6つのテーマ（分野）ごとに「取り組み」の表現やどのテーマに該当するか等意見を付箋に1、2枚書いてもらいました。
- そして、それぞれの付箋を紹介してもらい、各グループのファシリテーターが整理しながら意見交換していただきました。
- 最後に各テーマ（分野）のキャッチフレーズ案を考えてもらいました。

■□全体共有 20:20～20:45 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

- 全員が輪になって座り、各グループの代表が、付箋が貼られた模造紙を見せながら出た意見を発表し、それを受けて、全体での討議が行われました。また、「シール投票」を行い、一人ひとりが、模造紙の上の賛同する意見のところに赤いシールを貼りました。

■□おわりに 20:45～20:50 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

- 最後に主催者を代表して石附主査が感想とお礼の言葉を述べ、閉会の挨拶を行いました。
- 各参加者に「ふりかえりシート」を作成してもらいました。

<【き】チーム>

テーマ（分野） <b>安全</b>	参加者の発言
①河川氾濫を防ぐための雨水貯留対策 ②浸水被害を防ぐための排水対策 ③地震等に備えた防災・減災対策 ④防犯対策 ⑤交通安全対策 ⑥消防活動 ⑦上水の供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の連携。</li> </ul>
キャッチフレーズ案 ※到達できず	
テーマ（分野） <b>健康、福祉</b>	参加者の発言
①健康づくり  ②救急医療体制 ③地域福祉活動 ④子育て支援 ⑤母子（父子）家庭福祉 ⑥妊娠・出産期の女性への支援 ⑦障害者（児）福祉  ⑧高齢者福祉 ⑨各種医療費助成 ⑩生活保護 ⑪国民健康保険	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「きよす健康マイレージ事業」（県と市の協働事業）はお金がかかっているのもったいない。</li> <li>・ 健康福祉行政の活動が地域（コミュニティ）へ行きわたらない（①③）。</li> <li>・ 支援センターはあるが、軽度の要支援児童が行く先がなく市外に出てしまう。施設を建て、良い先生を招いて欲しい。</li> <li>・ 障害者（児）施設が少ない。●●●●●●</li> </ul>
キャッチフレーズ案 ※到達できず ・ 潤った教育、親の支援。	
テーマ（分野） <b>市街地整備、環境保全</b>	参加者の発言
①公園・緑地整備 ②河川沿い遊歩道の整備 ③駅周辺などの市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園の整備が中途半端でもったいない。</li> <li>・ 新川の浄化（②⑥）。●</li> </ul>

<p>④道路・橋りょう整備 ⑤公共交通 ⑥下水道の普及</p> <p>⑦ごみの減量化・資源化・適正処理 ⑧斎苑施設整備 ⑨環境美化 ⑩資源循環型社会の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 細い道が多すぎてとても不便。子どもが危険。</li> <li>・ あしがるバスの範囲拡大。●</li> <li>・ 阿原地区における下水道の整備。新川が汚れている。</li> <li>・ 近隣の自治体に比べて遅れている。</li> </ul>
<p>キャッチフレーズ案 ※到達できず</p>	
<p>テーマ(分野) <b>教育、文化、芸術、スポーツ</b></p>	<p>参加者の発言</p>
<p>① 学校教育</p> <p>②幼児教育 ③生涯学習 ④文化・芸術活動 ⑤文化財保護 ⑥スポーツ</p> <p>⑦地域間・国際交流 ⑧青少年健全育成 ⑨男女共同参画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勉強についていけない児童へ、学生ボランティアが学習支援に入る。児童は支援が受けられ、親も塾代が浮き、学生も実践的な学びの場が得られて三者が嬉しい仕組みでは？(コミュニティスクールという考え方、学生ボランティアの行政による認証 or 登録制度は？校内で中学生版トワイライトは？) ●●</li> <li>・ 若い教員が多く、昔のような怖い先生が少なくなった。(退職金カットが原因?)。●● モンスターペアレントが言いたい放題のままになり、まじめにやっている子が損をすることがないようにしてほしい。</li> <li>・ 新川中学校の部活の種類が少ない。大人になった時にバレーボールに参加する人も少ない。●</li> <li>・ 生涯の健康のためにも、子どもの頃からいろんなスポーツを経験してほしい。</li> </ul>
<p>キャッチフレーズ案 <b>「心も体も豊かな清須」 ●●●</b> <b>「愛のある学校教育」</b> <b>「つながり」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心身の健康は大切。</li> <li>・ 変な観光よりも、教育の充実こそ子育て世代が戻りたい清須になり、人口増につながる。</li> </ul>	

テーマ（分野） <b>産業、観光</b>	参加者の発言
①商業 ②工業 ③農業 ④観光 ⑤消費生活相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模工場の誘致。</li> </ul>
キャッチフレーズ案 ※到達できず	
テーマ（分野） <b>市民参加、行政運営</b>	参加者の発言
①市民・行政間の情報提供・情報交流  ②ボランティア活動 ③市政への市民参加 ④自治コミュニティ活動  ⑤行政改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内または町内でSNSの活用（市長がフェイスブックで広報している市もある）。●●●●●●●●●●●●●●●●</li> <li>学生、学校教育ボランティアの導入（①～③）。</li> <li>他人まかせでない、活気あふれる街づくり。</li> <li>自治コミュニティを再編成した方が良い。そろそろ学校単位の活動にしてはどうか。</li> <li>自治コミュニティ活動。ニューファミリー層への企画を実施した方が良い。●</li> <li>新しい方がコミュニティに参加しにくいのか？いつも同じ人が参加している。新しい方が参加したくなるような運動会などが出来ると良い。</li> <li>若者への選挙権（市の政策に参政権）を条例化して欲しい。</li> </ul>
キャッチフレーズ案 <b>「地域・行政・ふれあい」●●</b> <b>「一軒一軒を大事に」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域間交流が欲しい。恒例の行事を一つやめて、新しいものを取り入れ、衣替えをするくらいの勇気があっても良いのではないか。</li> <li>親世代がいる人には情報が集まり、目当てのある参加者は集まるが、単家族には細かい情報は届いておらず、結果として参加が増えない。</li> <li>町内会に入っていない世帯もある。</li> <li>参加者を多くすることだけに主眼が行き、集めている町内会費の使途（お菓子をただ同然で配る）等も課題。</li> </ul>	
全体に関わる意見 <ul style="list-style-type: none"> <li>（健康、教育、市民参加にまたがる意見として）市民全体が集える環境を整えて欲しい。地区毎にそれぞれ恒例行事をしているが、市として面の活動を取り入れて欲しい（例えば健康増進にかかわるイベントを地区の競争心や遊び心を含めてイベント的に実施する）。</li> </ul>	

<【よ】チーム>

テーマ（分野） <b>安全</b>	参加者の発言
①河川氾濫を防ぐための雨水貯留対策  ②浸水被害を防ぐための排水対策 ③地震等に備えた防災・減災対策  ④防犯対策   ⑤交通安全対策 ⑥消防活動 ⑦上水の供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 河川の治水対策をする際には、景観もよくするというように、施策をリンクさせると良い。</li> <li>• 清須市には耕作放棄地も含めて、まだ田んぼが多く残っている。雨が降ったら水が溜まる田んぼは大切。土地を買って川を広げて堤防をつくるよりも、田んぼの維持に治水の観点から助成金を出しても良いのではないかと。市民、民間ができる安全のためのハード整備・維持管理とも言える。</li> <li>• マンションの共有部分などは、災害時に一時的に避難して良い場所として一般に提供できると良い。</li> <li>• パチンコ屋から民地に防犯カメラの設置の話があった。公共施設だとルール等があり交渉・設置に時間がかかるが、企業（民間）と個人（市民）の場合は話が早いのである。しかし、防犯カメラは設置してくれるが維持管理はしてくれない。そのため、公共施設に設置しやすくして、維持管理まで行政ができるようになると良い。次の10年改善すべき事項。</li> </ul>
キャッチフレーズ案（キャッチフレーズにはなっていませんが、重要なこと） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 民（企業、個人）も協力するが、問題も多いので官がリードしたり、情報発信をすると良い。</li> </ul> <div style="text-align: center;">●●●●●●●●</div>	
テーマ（分野） <b>健康、福祉</b>	参加者の発言
①健康づくり ②救急医療体制 ③地域福祉活動 ④子育て支援 ⑤母子（父子）家庭福祉 ⑥妊娠・出産期の女性への支援 ⑦障害者（児）福祉 ⑧高齢者福祉 ⑨各種医療費助成 ⑩生活保護 ⑪国民健康保険	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ①、⑧、⑩について。以前、警察から防犯カメラをつける話があったが、自分達で安全なまちをつくる必要がある。まちを歩く人が少なくなったのが空き巣の原因なら、グループでウォーキングをしたらどうか。結果的には、健康になり、医療費の削減にも繋がる。</li> </ul>

<p>キャッチフレーズ案（キャッチフレーズにはなっていませんが、重要なこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会の問題を解決するために、関係性を見出して施策を繋げることが大事。●●</li> </ul>	
テーマ（分野） <b>市街地整備、環境保全</b>	参加者の発言
<p>①公園・緑地整備 ②河川沿い遊歩道の整備 ③駅周辺などの市街地整備  ④道路・橋りょう整備  ⑤公共交通 ⑥下水道の普及 ⑦ごみの減量化・資源化・適正処理 ⑧斎苑施設整備 ⑨環境美化 ⑩資源循環型社会の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公園・緑地の整備はどこまで進んでいるのか。</li> <li>• 河川も、安全のため、景観のため。●</li> <li>• 街並み保全が大事。今は廃屋が点々としている。</li> <li>• 市街地整備はどこまで進んでいるのか。</li> <li>• 家の前の道路は、掘り返して綺麗になった後に、街灯が付いて明るくなった。いずれ電気をつける計画があるのであれば、掘ったときに同時に電線を地中化すれば、少ない予算でより良いまちづくりができるのではないかと聞いたことがある。経済効果というならば別かもしれないが。</li> <li>• 各部署に予算が配分されるので、やりにくいかもしれないが、これからはそれではダメ。縦割りだけではなく、横の繋がりが必要。</li> <li>• 全体をみる総合計画の中に位置づけて、こことここを関連づけて、と考えると良いのではないかと。</li> </ul>
<p>キャッチフレーズ案（キャッチフレーズにはなっていませんが、重要なこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各施策の現状共有が市と自治会間でまず必要。施策はどこまでできているのか。</li> <li>• 駅や公園、その周辺など、みんながよく使うところが心地よくなるように整備しよう。●</li> </ul>	
テーマ（分野） <b>教育、文化、芸術、スポーツ</b>	参加者の発言
<p>①学校教育 ②幼児教育 ③生涯学習 ④文化・芸術活動 ⑤文化財保護 ⑥スポーツ ⑦地域間・国際交流 ⑧青少年健全育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公園はスポーツ公園にして欲しい。●●</li> <li>• ⑧青少年健全育成と、「(テーマ)健康、福祉」の⑧高齢</li> </ul>

<p>⑨男女共同参画</p>	<p>者福祉に関わる。共働きの親を持つ子が、帰宅後鍵を開けてテレビを観ているというのは寂しい。それよりも、小学生の学童保育としては制約条件があるだろうが、高齢者の生き甲斐として、公園でボールを蹴ったり、キャッチボールをしたり、将棋をしたりなど、祖父母世代との交流ができると良い。実際には身体が子どもについてはいけないが、見守ることはできる。●</p>
<p>キャッチフレーズ案（キャッチフレーズにはなっていませんが、重要なこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一つの施策でできることももちろんあるが、幾つかの施策を実施する担当者が連携をすることで、少しの費用で、それぞれの施策の効果を得られるような事業をやっていきたいと思います。</li> </ul>	
<p>テーマ（分野） <b>産業、観光</b></p>	<p>参加者の発言</p>
<p>①商業 ②工業 ③農業 ④観光 ⑤消費生活相談</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活相談などをもっと宣伝する。</li> <li>広報に載っていても知らない、見ていない。どんな打ち出し方をすべきか。●</li> <li>テレビ、HP、フェイスブックなどで、報告は多いが、これからの予定や募集をするべき。●</li> </ul>
<p>キャッチフレーズ案 ※到達できず</p>	
<p>テーマ（分野） <b>市民参加、行政運営</b></p>	<p>参加者の発言</p>
<p>①市民・行政間の情報提供・情報交流  ②ボランティア活動 ③市政への市民参加 ④自治コミュニティ活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清洲駅から家までの間に稲沢市を通る。そこで娘が痴漢にあった。街灯や防犯灯をつけるなどの対策がとれないか知り合いの議員に聞いたが、稲沢市のため知り合いがいたら伝えるということで終わった。見回り隊などをやってはいるが、それ以上は動けていない。</li> <li>同じことが避難所にも言える。稲沢市の避難所の方が近いのに、清須市の避難所に行かなくてはいけない。危ない時に。</li> <li>稲沢市と清須市は、痴漢対策や避難対策などで連携していくべき。住民レベルでも連携できると良い。●</li> <li>行政の末端に位置づけられている自治会の担い手がい無い。行き詰まっている。1年ごとに町内会長が交代する</li> </ul>

<p>⑤行政改革</p>	<p>ので、新しくなった人は状況が分からず、踏み込んだことができない。繋げていくこともできない。今回相談役として残っているので、少しは伝えているが。町内会長は、地域であの方なら大丈夫という方がなっていないと、行政の末端という機能は果たせない。自治会と市との連携もとれていないのが現状である。●●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ブロック制が言われているが、大小に差がある。大丈夫か。行政はスリム化して良いかもしれないが、その分ブロックに仕事が投げられても困る。</li> <li>• 住民自治が成り立たない。行政はどう舵取りしていくか。</li> <li>• 各事業を調整し、効率 UP。無断なことはしない。</li> <li>• 市職員（行政）は、一人ひとりお持ちの改革心や改善心を消化できているのか知りたい。</li> <li>• 行政職員一人ひとりの連携。</li> </ul>
<p>キャッチフレーズ案（キャッチフレーズにはなっていませんが、重要なこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 組織と組織（町内、市）の連携●●●●</li> </ul>	
<p>全体に関わる意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各施策、何ができていて、何ができていないのか。まず、現状の共有ができていない。</li> <li>• 施策が多すぎるのではないか。人や時間が足りなくなり、結局実施できないことを懸念する。</li> <li>• 行政は情報発信をしているけれども、市民は十分に受け取れていないことが多々ある。皆が観ているようなテレビ、アクセスしているようなインターネット等にも情報を載せている必要がある。</li> <li>• 多様な連携が必要である。稲沢市のような他都市との連携、その中には行政機関同士もあれば、住民同士もある。</li> <li>• 行政の中での連携も重要である。縦割りではなく、担当者が協力をして、施策を複数組み合わせ、少ない予算で多方面への効果を出す方法を考える。</li> <li>• 行政職員の方、一人ひとりの気持ちや改革心、改善心を大切に、個として行政内で連携がとれると素晴らしい。</li> <li>• 行政と市民の連携では、自治会の担い手がいないことが大きな問題。どうしていくか。</li> <li>• 民間企業と住民との連携は、早いが持続が難しい。</li> <li>• 官がやるべきだと思われていることでも、助成金を出す等の工夫次第で、民でもできることがある。例えば、雨水貯留対策としての田んぼの維持など、安全のためのハード整備。</li> </ul>	

<【す】チーム>

テーマ（分野） <b>安全</b>	参加者の発言
①河川氾濫を防ぐための雨水貯留対策  ②浸水被害を防ぐための排水対策  ③地震等に備えた防災・減災対策 ④防犯対策 ⑤交通安全対策 ⑥消防活動 ⑦上水の供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>7つの施策に加えて、地域に住む人のコミュニケーションやつながりという、ハードではなくソフト面の取り組みが必要（①～⑦）。</li> <li>地震、河川氾濫とあるがそれらが同時に起こりうる。複合的災害への対策が必要（①～③）。</li> <li>転倒防止。隣近所への働きかけが必要。</li> </ul>
キャッチフレーズ案 <b>「安心・安全で暮らせるまちづくり」 ●●●●●●</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「安心」が「安全」よりも先に来るべき。</li> <li>一次計画のキャッチフレーズにある「自然」はいらぬ。</li> <li>ストレートに「安心・安全で暮らせるまちづくり」が良い。</li> </ul>	
テーマ（分野） <b>健康、福祉</b>	参加者の発言
①健康づくり ②救急医療体制 ③地域福祉活動 ④子育て支援 ⑤母子（父子）家庭福祉 ⑥妊娠・出産期の女性への支援 ⑦障害者（児）福祉  ⑧高齢者福祉 ⑨各種医療費助成 ⑩生活保護 ⑪国民健康保険	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害児用の公園、遊び場が欲しい。健常児と一緒にだと疎外される。制約を受ける。障害児が楽しんで遊べる場所がないという苦情を障害児の親から聞く。</li> <li>障害者で、目が見えずに、生活保護を受けて、ヘルパーさんもつきっきりの人だと接するのが難しい。</li> </ul>
キャッチフレーズ案 <b>「生きがいを感じる、幸せあふれるまちづくり」 ●●●●●●</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己管理が出来て（から）、周りへの思いやり（自分自身が持病を管理している体験から）。</li> <li>「人にやさしい」、とか「やさしい」という言葉が入ると良い。</li> <li>「人にやさしい」は全般的に言えること（このテーマだけじゃなく）。</li> </ul>	

- 北欧が進んでいる。幸福度高い。「健康で幸せあふれるまちづくり」はどうか。心の健康も入る。
- このテーマはどちらかと言えば健康ではない人のことが多い。そういう意味では健康よりも、何か変えた方が良い。
- 「助け合い」。
- 「生きがい」。
- 確かに、健康ではない人でも助け合って幸せであれば、このまちで良かったねというイメージ。
- 助け合いは大事だが、個人的な感性の違いで、助けられることで気分を害する人もいる。健康じゃなくても生きがいがあれば幸せかもしれない。
- アンチ助け合い、ほっといてくれ、余計なお世話という人もいる。
- 健康じゃないからこそ生きがいを見出せたという人もいる。だから、生きがい、幸せを前面に出したら良いと思う。
- 健康も大事だが、今はほぼ当たり前になっている。
- 「安全・安心で、生きがいがあって健康で、幸せなまち」だったらめちゃくちゃすごいこと。後のテーマはなくてもすごい。
- 北欧の町に行くとテラス、窓に全部花がある。あれを見ただけで感性豊かだなと思う。生きがいを感じるというのは花とか猫、犬、自然を大事にしているということ。
- たとえ健康でも生きがいがないければつまらない人生だと思う。
- 高齢者が刺し子やったり、パッチワーク、絵手紙やったりしている。

テーマ（分野） **市街地整備、環境保全**

参加者の発言

①公園・緑地整備

②河川沿い遊歩道の整備

③駅周辺などの市街地整備

④道路・橋りょう整備

⑤公共交通

⑥下水道の普及

⑦ごみの減量化・資源化・適正処理

⑧斎苑施設整備

⑨環境美化

⑩資源循環型社会の構築

• 景観創造。観光都市はただ整備をしているだけではなく、とても魅力的に、見栄え良くまちづくりをしている。パリのように、人間は視覚的に良い所はとても良いと感じる。美しいまちを。創造がまちの個性になる。

• （循環型社会は）モデルケースを作って評価しないと進まない。

キャッチフレーズ案

**「魅力ある快適なまちづくり」●●●●●●●●●●**

- 清須市は、川は切っても切れない関係。川との共存は大切。だから「水」は何かで入れるべき。
- 河川が3本あるが、物流・交通の点では橋を渡らないと隣に行けない。気になるのは毎日の交通渋

滞。悪いイメージもある。交通渋滞を克服しないと本当の快適な都市にはならないと思う。そういう対策も必要。道路、橋梁整備。ビジョンがないといけない。●

- ・ 景観を考慮して欲しいので「魅力ある」、「快適な」の二つの言葉を入れて欲しい。
- ・ 遊歩道の整備。河川沿いに四季折々の愛でる花があれば魅力的。今は桜しかない。
- ・ 海外で感じるのは、日本の街並みには統一感がない。何か統一感があれば。
- ・ せせらぎが欲しい。音で感性が豊かになる。ただ川が流れていれば良いのではなく、高かったり低かったりして岩場を流れると音が出る。その辺が魅力。それに綺麗な花があれば。●

テーマ（分野） <b>教育、文化、芸術、スポーツ</b>	参加者の発言
------------------------------	--------

<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校教育</li> <li>②幼児教育</li> <li>③生涯学習</li>   <li>④文化・芸術活動</li> <li>⑤文化財保護</li>   <li>⑥スポーツ</li>   <li>⑦地域間・国際交流</li> <li>⑧青少年健全育成</li> <li>⑨男女共同参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が手を出すことではないかもしれないが、人間教育。例えば、違う観光地に行った時に良いおもてなしを受ければ、その市はとても良い印象を与える。育った環境や時代で、人間としての倫理観を持ってない人も多い。その手助けをするという感じ。魅力的な人間をつくる。新しい時代に向けてそういうものがあったても良いのでは。</li> <li>・ 今までの文化や芸術を守るだけではなく、清須独自の文化を創造していく。金沢の武家文化のように（④⑤）。●</li> <li>・ 伝統と創造。●</li> <li>・ スポーツで子どもとお年寄りの交流があると良い。お年寄りにはパターゴルフとかをやっている方が多い。子どもはサッカー、野球をやっている子が多い。交流会があり、子どもの顔を知ると防犯にもなる。●●●●</li> </ul>
--	--

キャッチフレーズ案  
※到達できず

テーマ（分野） <b>産業、観光</b>	参加者の発言
----------------------	--------

<ul style="list-style-type: none"> <li>①商業</li>   <li>②工業</li> <li>③農業</li> <li>④観光</li> <li>⑤消費生活相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ （既存の産業だけではなく）IT産業、情報産業の技術支援・起業支援を。ITはどこにいても若い人が集まってできる。高校生でもできる。加えた方が良い（①②）。</li> <li>・ 地域の店の活性化を。すごく良い店がいっぱいある。地図を作ったり、もっとアピールして欲しい。</li> </ul>
---	---

キャッチフレーズ案 ※到達できず	
テーマ（分野） <b>市民参加、行政運営</b>	参加者の発言
①市民・行政間の情報提供・情報交流  ②ボランティア活動  ③市政への市民参加  ④自治コミュニティ活動 ⑤行政改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雇用のこと。リタイアした世代や、子育てが終わってちょっと仕事をしたい方等が地域でできるアルバイト的な仕事の窓口があると良い。校区の中に一つとか。</li>   <li>・ 市民参加で川の美化をしている。100人体制。かなり汚かった川をきれいにした。環境整備の活動を市民参加にも加えても良いのでは。</li> </ul>
キャッチフレーズ案 ※到達できず	
全体に関わる意見 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統と創造。</li> <li>・ 関わりあい、関心しあって、感心に変えあう（キャッチフレーズの一案）。</li> </ul>	

## &lt;意見交換（発表後の一言ずつの感想）&gt;

- みなさん感性が鋭い。「安心で、安全で、生きがいがあって、幸せで、魅力的で、快適なまち」、これだけですごい。産業、行政、市民参加…は「伝統と創造」という言葉をキーワードに持ってくると良いまちになる。
- 今回のテーマは非常に難しいというイメージがあったが、こういうことかなと認識できたこともあった。
- 行政からの発信をもう少し市民に訴えて欲しいと思った。「見える化」を。
- いろいろみんなで知恵を寄せ合って進めていけば、思わぬことで素晴らしいまちになると思った。
- 「関心」を「感心」にすると「心」が二つになる。一方通行じゃない。感謝・感激・感心し合う。そうすると、お互いが感動して人格形成に役立つ。そういう気持ちで接していると自分自身が勉強になることがわかった。
- いろんな視点からの意見があって、本当に勉強になった。
- 言いたい事を言わせてもらって、みなさんの意見を聞いて、これが形になったらすごい清須市になるなと思う。そう願う。
- 市がやっている内容をまず読んで理解するだけで精一杯でしたが、いろいろ勉強になった。
- 「安心、快適、魅力…」と行政は平均に並べたいと思うだろうが、次の10年間は「これは絶対にやる」ということを一つ大きく掲げてもらいたい。我々のチームは教育だった。大きな発信ができること、これは行政として必ず成し遂げますということ。
- たくさんの意見が出て、実現すると良いなと思った。
- 目標に迫るためのアプローチは、それぞれのチーム独特のものがあると感じた。
- 今日は連携、連携という言葉が出て、ほくほくした気分で帰れそう。
- みなさん清須のことが大好きなんだということがよく伝わる2回目だった。次もすごく楽しみだし、私ももっと勉強しなきゃなと思った。
- 以前は行政と市民の壁は多々あったと思う。これからの社会は壁があってはうまくいかない。我々も行政に関心を持たなきゃいけないし、行政も市民が参加できる形でないといけない。この中で少なくとも二つ、三つは完全に実施できると良い。もう一つは何かの形で目標が持てるものがあるって欲しい。数値目標は難しいかもしれないが、PDCAがうまく回って、次のステップに持っていけるように。今までの反省があって次はどうしようというのが見えると良い。



パブリック・ハーツによる進め方の説明の様子



「き」チームの討議の様子



「よ」チームの討議の様子



「す」チームの討議の様子



全体共有・発表の様子



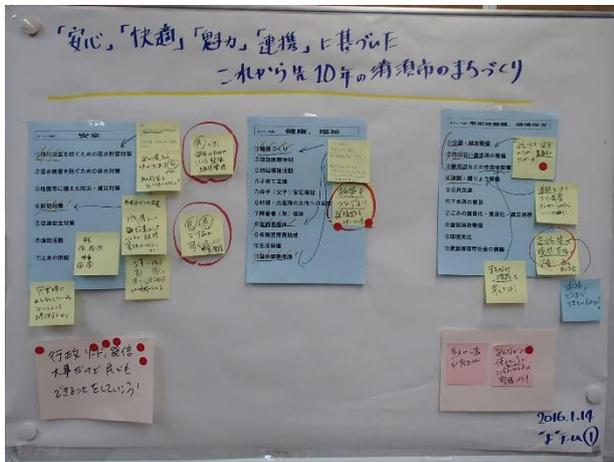
一言ずつ感想を述べる様子



「き」チームの模造紙—前半（テーマ①～③）



「き」チームの模造紙—後半（テーマ④～⑥）



「よ」チームの模造紙—前半（テーマ①～③）



「よ」チームの模造紙—後半（テーマ④～⑥）



「す」チームの模造紙—前半（テーマ①～③）



「す」チームの模造紙—後半（テーマ④～⑥）

1. 本日の議論を通じて改めて感じたこと、言い残したこと等がございましたらお書きください。
- 中学校以下の子供さんのいる方々の意見として、教育のあり方を直接聞くことができ良かった。この事をコミュニティ活動に取り入れるべきと思いました。
  - 参加された方の意見で、清須市に対する思いが強い事を再認識しました。
  - 義務教育の子どもが3月で終わりになるので、これからの清須市の教育に関われなくなります。この会議を期に良くなると良いなあと思います。
  - 皆さんの清須に対する意識の高さに（前回同様）脱帽です！こんな風に良くしたいと思う方々ももっといるはず！改革するなら本当に“今”だと感じます。
  - 市民と行政とのふれあいが少ないと感じました。3チームの共通意見としては「行政→市民への情報発信が一方通行になっている」でした。
  - あらためて大変な事だと思いました。話し合いの中の事が一つでも多く実現されることを期待しています。
  - 清須市を良くするためには、行政と民間と一緒に変えていかなければならない。
  - 我が「す」チームがテーマ別キャッチフレーズで残した「安心」「安全」「生きがい」「幸せ」「魅力」「快適」「伝統」「創造」を基に、今後の総合計画を作成していただけたならば、とても素晴らしいまちになるかと思っています。
  - 道路、橋りょう整備。水と川の良さに対し、橋が交通渋滞の原因でもあるため、物流を含めた対策を！
  - まだまだ時間を共にすれば湧いて出てくる話題がある。お話ししたいなと思いました。
  - 参加者のこれからの清須に対する情熱が熱く、感心させられました。地域づくりは周辺地域も含んだまちづくりが重要では。
  - 難しかったです。いろんな観点からの意見が聞けて良かったです。
  - 市民＝自分という意識が必要。

2. 本日の満足度を100点満点で表現すると何点ですか。その理由や改善点もお書きください。

(1) ご自分（個人）に対して

- 50点 6案件の話し合いを進められなかった。
- 30点
- 80点 今回のテーマが難しく、なかなか意見が出なかった。
- 30点 言いたいことを言いすぎて失言もあったかも。
- 30点 思いがきちんと言葉で伝えられたかどうか…。
- 50点 会社の方針展開と混同する。
- 70点 6つの項目全てに触れることができませんでした。
- 40点 今回はちょっと何をしたのかがわかりませんでした。
- 20点 内容をしっかり理解していない。
- 95点 チームを引っぱれたかと思っています。

- ・ 80点 事前チェックの不足。
- ・ 100点 頭に浮いたものを全部吐き出せました。
- ・ 50点 批判じみた表現になりがちであった。
- ・ 60点 少しは意見が言えた。
- ・ 40点 下準備、行政に対しての学習が必要でした。
- ・ 60点
- ・ 70点 前回よりはリラックスできて、意見を言うことができた。

(2) グループ・全体に対して

- ・ 100点 頭に浮いたものを全部吐き出せました。
- ・ 50点
- ・ 50点
- ・ 100点 それぞれの意見が多かったです。
- ・ 100点 とても勉強になります。
- ・ 100点 全部の話が聞けなかったのは残念でした…。
- ・ 70点
- ・ 90点 他世代の方の意見やアプローチが素晴らしく、勉強になりました。
- ・ 100点 分からない中でもテーマがいろいろと出ていた。
- ・ 80点 1. で書いた意見などが出て、良い議論ができた。
- ・ 95点 みな良い感性を持っておられるチームでは。
- ・ 85点 議論が活発にできた。
- ・ 100点 素敵ナリードマンのもと、分からなく難しい中、つたない？（程ではありませんが）言葉を並べながらも良い会話をもてた。
- ・ 70点 年齢の区分がどうか。
- ・ 80点 キャッチフレーズまでいかなかった。けど、内容は良かった。
- ・ 100点 いろいろな角度からの意見があり楽しかったです。
- ・ 70点
- ・ 80点 もう少し詳しく内容を議論しても良かったかも。

(3) ファシリテーター・事務局に対して

- ・ 20点 意見のとらえ方が伝えられなかった。
- ・ 80点
- ・ 100点 素晴らしい対応でした。
- ・ 100点 誘導してくれて言葉にできました。
- ・ ?点 まとめるのは大変ですね。
- ・ 70点
- ・ 100点 我々が乱してしまいましたが、うまく進めていただいて助かりました。

- 100点 今回もまとめ役として分かりやすく話をしていただいた。
- 50点 よく分からない。
- チームをよくまとめていただきましてありがとうございました。
- 80点 時間配分で少し話し合いの時間不足。
- 難しく、ピンと頭に入らなかった。みんなに助けていただいた。シンプルに。
- 60点 進行がやや弱い。
- 100点
- 100点 進行をまとめて頂き助かりました。
- 70点
- 90点 意見をとてもの確にまとめて下さった。リラックスして話ができる環境を作ってく  
ださった。

3. その他、ご意見、ご感想等ご自由にお書きください。

- テーマを一つにして話し合いをすべきです。
- 論点が最後まで絞り切れなくて自分自身やや不本意、消化不良の感あり。
- 次も楽しみにしています。
- 次回もよろしくお願いします。
- 次回も楽しみにしています。
- 6時30分集合は少し早いです。
- 事前・経過説明をもう少し簡潔にしてくださいね。
- 何らかの格好で数字で表せるものがあると良いのでは。本当に住んで良かったと言えるまちづくりを実現したい。
- 次につながる話し合いができたと思います。
- 今日のような意見を市民全体から求める。

市民参画会議参加者
-----------

1	堀田 俊雅	10	渡辺 美里
2	小島 竹雄	11	岡山 和弘
3	横井 秀則	12	串 尚樹
4	福井 直樹	13	山田 美幸
5	花井 富士郎	14	山田 美紀子
6	安藤 秀夫	15	法月 由紀子
7	水谷 義和	16	園田 幸子
8	入山 八三郎	17	鳥谷 裕輔
9	濱田 法子		